

こうじん

第5号

更生保護女性連盟綱領

- 1. 私たちは、一人ひとりが人として尊重され、社会の一員として連帯し心豊かに生きられる明るい社会を目指します。
- 1. 私たちは、更生保護の心を広め、次代を担う青少年の健全な育成に勤めるとともに、関係団体と連携しつつ、過ちに陥った人たちの更生のための支えとなります。
- 1. 私たちは、知識を求め自己研鑽に励むとともに、あたたかな人間愛をもって明るい社会づくりのために行動します。



ごあいさつ

会長 伊藤 さより

皆様には、日頃より温かいお力添えを賜り厚く御礼を申し上げます。

新年早々に、能登半島地震が発生し、未だに多くの方が大変な苦しみや悲しみに苛まれています。今日という一日、今という現実に向き合い、生かされ

ている事に感謝し会員の皆様と共に、地域に根ざした活動を多様な形で展開して参ります。

日本更生保護女性連盟主催の令和6年度「地域との連携・協働活動推進地区」全国20地区に大館地区が選定されました。会員の皆様との繋がりを大切に、ご協力とご助言を賜りながら活動して参ります。

今後共、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

第56回秋田県更生保護大会

令和5年11月20日(月)あきた芸術劇場ミルハスでの更生保護大会において更生保護女性会より13名の方が表彰を受けられました。おめでとうございます。



日本更生保護女性連盟会長表彰に感謝して

櫻田 玲子

日本更生保護女性連盟会長表彰を頂き感謝いたします。この度の表彰は本当にびっくりいたしました。県の会長に「長い間頑張って来られましたね」と労われた時は本当に嬉しさがこみ上げました。そして東京での受賞式に出られますかと聞かれ舞い上がってしまいました。長く在籍していたのは、大館婦人会の活動を50年以上もつづけてきたお陰です。当時は更生保護も婦人会の一事業のように活動しておりました。10年前ほどから独自の活動をするようになり、私達も改めて活動を通して勉強し、きっちりこの会に向かい合いました。活動内容も幅を広げました。「社会を明るくする運動」には、ずっと参加して居りました。支援学校の夏祭りには、焼きそばを作り生徒さんたちは飲み物を作り一緒に販売し頑張りました。最後に大曲の花火師さんによる花火大会の素晴らしかった事はいつも目に浮かびます。また、コロナの時はマスクを作り送りました。皆で雑巾を縫って各学校に送る活動も毎年やっております。児童館を訪問し一緒に簡単なおやつを作り「こうくん」の読み聞かせもしました。目を輝かせている児童さんとの交流は私たちの宝物です。

社会復帰をする前の方たちとの交流は、布裂き、お茶の袋づめなどの作業をしながら歌を歌ったりして楽しく交流しました。今年は秋田の施設への訪問当番が大館にありました。御昼は大館名物の鶏飯弁当にして、私の作るお菓子をお土産にしたいので教えてほしいと言われ皆で作りました。

喜ばれたとあとで聞きました。珍しかった事もあったと思いますが、自分に出来ることで役にたった事は嬉しい事でした。今後共会員同志は心を清く保ち学び合い相手の事を思いやる心で、この活動を続けて行きたいと思っております。

本当に有難うございました。



一受彰者の皆さまおめでとうございます一

日本更生保護女性連盟会長表彰

櫻田 玲子

東北地方更生保護女性連盟会長表彰

佐藤 明子 岸 房子

秋田保護観察所長感謝状

小林 節子 前田 タエ子

原田 悦子 山内 カヅ子

富 樫 良子

秋田県更生保護女性連盟会長表彰

竹村 志代子 富 樫 蕪子

小笠原 廣子 長谷部 陽子

佐藤 則子

令和5年度大館地区更生保護女性会の活動

令和5年度秋田県更生保護女性連盟総会に出席して

富 樫 良 子

この度、初めて総会に出席させていただきました。座席が来賓の方々の目の前でとても緊張しました。来賓の正木観察所所長が秋田市出身との事もあり総会は、和やかな雰囲気が進められました。

なかでも、斎藤会長の「地域の実情に沿った活動と何よりも会員同士の絆を大切に活動する女性会を目指したい」というお話が強く印象に残りました。そして、いつの間にか私の緊張も無くなっていました。

昼食後の余興では、昔話の語り部をされたり歌唱を披露された方が堂々としていて女性のパワーを感じました。

又、長年更女活動を続けてこられた太田前会長からエールを送っていただきました。

総会に出席して、とても有意義で楽しい一日を過ごす事が出来ました。

私も微力ながら、中学校での朝の挨拶運動や贈呈用の雑巾作りなど、身近な所から地域の子供達を見守り続け応援していきたいと思います。

大館地区更生保護女性会研修会に参加して

富 樫 あけみ

この度は大館地区更生保護女性会研修会に初めて参加をして大館市役所、秋田地方裁判所大館支部を見学し、更生保護活動に役立つ知識を身に付け、関係機関との交流や活動への理解を深めました。会員30人が参加。新型コロナウイルス禍で、4年ぶりの研修会です。市役所総務部の黒田隆仁課長補佐が、5階から各フロアを案内、会員は各階で質問したり、メモを取ったり学びを深めました。

次に見学をした裁判所は最初少し緊張しましたが中に入り裁判官の方からいろんなお話を聞き裁判の事とかいろんな事を知る事ができてとても勉強になりました。

最後は裁判官の服を着て裁判官の席にすわる事まで出来ました。

市役所見学、裁判所見学ともいろいろな事を改めて知る事が出来てとても勉強になりましたすばらしい経験をする事が出来て良かったです。

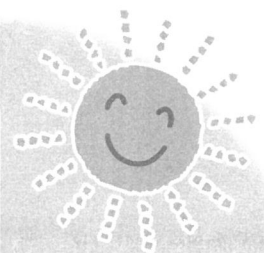
ありがとうございました。



更生保護女性会新会員研修を受けて

渡 邊 みき子

秋田市で行なわれた研修会で、一人で出来ることには限りがあるが、沢山の人達と関わり、活動することで、社会を明るくすることが出来たり、犯罪や非行を起こさせない生活環境だったり、社会環境作りの大切さなどを学び、更生保護に協力することは、特別な人達に限られるわけではなく、誰にでも出来て、自分達の持てる力を出し合うことで良く、それには、何より自分が楽しんで活動することが大事なことで、そして、目的を持って、気づき、考え、行動すること、また、人との出会いで自分も変わることなど、又、会長さんの話の中で、耳を広げ良く話を聞く、目を大きく開けて良く回りを見る、口をすばめて多くを言わない、と言うお話などを聞いて自分を律することが出来ました。二時間と短い時間でしたが多くの事を学び、沢山の事に気づかせていただいた研修会でした。ありがとうございました。



朝のあいさつ運動

4/16 大館市立矢立小学校

6/26 大館市立田代中学校

6/27 大館市立成章中学校

6/30 大館市立南中学校



令和5年度 東北地方更生保護女性会研修会に参加して



五十嵐 芳子

初訪の地、福島。大震災・復興・処理水と心に想うキーワードは苦いが、駅から眺める町並みは、どこにでもある地方の町と変わらない穏やかな景観に感じた。

令和5年度東北地方更生保護女性会会員研修会が、9/25～26日福島市で開催された。研修テーマ「誰一人取り残さない地域社会を作る更生保護女性会活動を求めて」を掲げ4つの分科会毎にサブテーマのもと研修討議や活動の状況報告が活発に展開されていた。

私が、参加した第③分科会は、秋田地区の発表だったが、日々の活動を充実させているだけに、説得力に開け活動の原点に振り返り更女のやり甲斐を共通認識

したいと訴えていた。東北6県どこも課題に差違はなく、めざす想いは皆一緒。千葉理事長の講評の如く、ここに参集して、学び、気づき、語り合える事が収穫だったと思う。正解もないが、欲張り過ぎず、様々な団体とも連携し、やれることを誇りにお裾分けお節介の精神が必要なのだと気持ちも整理できた気がした。そして、それを共有できる仲間がここにたくさんいたことも感謝であった。

ありがとうございました。



5/15 秋田至仁会へ 手作りクッキー パンケーキ



6/15 薬物キャンペーン 桂桜高校 大館警察署の皆さんと



11/8 秋田県更生保護女性会 会員研修会 担当 大館地区 あう 秋田市にぎわい交流館 au 185名

「雑巾」の寄贈がありました。心より感謝申し上げます!

12月15日(金)に、大館地区更生保護女性会 会長 伊藤 さより 様を代表に、大館地区女性会、東館地区女性会の方から、雑巾200枚程をいただきました。健康委員会委員長の丹波 満徳さんと副委員長の田部 斗賀さんが、児童を代表して受け取りました。本当にありがとうございます。本校の清掃等に活用させていただきます。



12/15 大館市立東館小学校へ雑巾200枚寄贈 (学校広報より)



12/22 大館市立山瀬小学校へ雑巾200枚寄贈



2/10 秋田犬の里 「コウくんときいろいはね」 絵本の読み聞かせ 「ごめん」と言える子に 更生保護の心を伝える



秋田県更生保護女性連盟 研修旅行に参加して

岸 房子

令和5年の秋田県更生保護女性連盟研修旅行は、9月11日～13日まで、都内と鎌倉を巡るコースで行なわれ、県内から64名の会員の参加があった。秋田駅からJRで都内に向い、東京湾をクルージング。青空のもと、高層ビル群を縫うように飛行する航空機を見るにつけ、期せずして、9月11日であることに気づき、ニューヨークの世界貿易センタービルの大惨事を思いおこしてしまっただけは平穏であることを痛感した。

夜は徒歩で東京タワーからの夜景を堪能した。コロナ禍が5類扱いになったことにより観光客が多くなっているのかと感じた。自分もその中の一人であるが。

2日目は鎌倉を散策したのち、ユニセフハウスを見学。「今のこの地球は、未来の子どもたちから借りているのだ」という言葉に、自覚を促されたよう

に思う。生まれた環境によって、さまざまな困難を強いられている多くの子どもたちと、今の自分が同じ時を生きていることに、思いを寄せ続ける必要があると強く感じた。

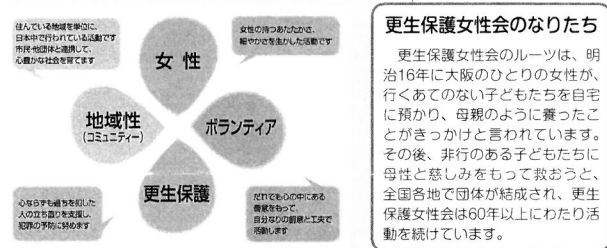


3日目は皇居散策のあと、警視庁、法務省を見学。警視庁では、通信指令センターをガラス越しに見下ろすように見学した。一日に平均約5千件の110番通報を受信し、都民の安心と安全の確保に努めていると説明された。頻回に受診のランプが点灯し、職員が対応している様子が印象に残っている。

今回の研修旅行では、初対面の会員の方がほとんどであったが、親しく声をかけていただき、交流できたことで、思い出深い貴重な体験となった。会長をはじめ、事務局、添乗員の方々には、細かにお気遣いいただいたことを心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

✿ 更生保護女性会

更生保護女性会とは、犯罪や非行のない明るい地域社会の実現に寄与することを目的として、地域の犯罪予防活動と犯罪をした人や非行のある少年の更生支援活動を行うボランティア団体です。全国に約1,300の地区会があり、約17万人の会員が活躍しています。



このような活動をしています。

- ミニ集会**
「家庭でのしつけ」「非行」など身近なテーマについて地域住民同士で話し合っています。
- 子育て支援**
子育て中の親を対象に子育て相談、親子ふれあい行事などを行っています。
- 刑務所や少年院での協力**
受刑者への訪問活動や女子刑務所での浴衣の着付け、少年院における運動会への参加などを行っています。
- 社会参加活動・社会貢献活動(※1)への協力**
保護観察を受けている人が行うレクリエーションや清掃活動・介護補助活動などに協力しています。
- 更生保護施設(※2)をサポート**
入所者の自立のための料理教室や「おふくろの味」の提供、生花や図書等の寄贈などを行っています。

(※1) 10頁参照 (※2) 11頁参照

保護司会様へごあいさつ

いつもお世話になっている保護司の皆様へ感謝のチョコです。これからも宜しくお願いします。



ようやく新型コロナが落ち着き、少しずつ元の世の中に戻ろうとしています。今できる事を、智恵を出し合い、思いやりをもって、子育て支援や地域での挨拶運動、防犯等に尽力して参ります。これからも宜しくお願い致します。